

**青森中央学院大学 別科助産専攻**  
**受胎調節実地指導員認定講習 開講科目一覧**

認定講習科目	母体保護法施行規則で定める時間	本学授業科目	時間数	授業内容
総論	9 時間	助産学概論	3 時間	助産師のアイデンティティの構築に向けて、助産の概念、助産師の定義と役割、助産の歴史と制度・教育の変遷から助産および助産師について学習する。また、助産ケアの基盤となる概念、理論を学び社会の動向を見据えつつ、多様な性のあり方に配慮した支援、及び多様な価値観に対応する助産師の役割と責務について考察する。加えて現代社会における母子とその家族の関係が良好に発達していくための支援について考察する。
		生殖と生命倫理	6 時間	生殖のメカニズム、生殖に関連する疾患など、助産活動に必要な生殖に関連する基礎的知識および高度な先進医療に関する知識を学ぶ。また、生命に関する倫理原則を学び、性と生殖に関する倫理原則を学び、課題について考える。
受胎調節の基礎	5 時間	女性のライフサイクルと健康	2 時間	女性のライフサイクル各期の身体的・心理社会的特徴と性と生殖に関連した健康課題に対する支援を学習する。健康教育・保健指導を通して、性と生殖に関連した健康の自己決定支援ができる能力を身に付ける。
		周産期学Ⅰ	2 時間	助産診断・技術を学修する上で必要な妊娠期・分娩期の病態生理（正常・異常）、胎児の発育発達について学習する。
		周産期学Ⅱ	4 時間	助産診断・技術を学修する上で必要な産褥期の病態生理、「周産期の心理的变化及び起こりやすい精神疾患、新生児の適応および病態生理について学習する。また、女性のライフサイクル各期の疾患と管理について学修する。
受胎調節の指導	13 時間	女性のライフサイクルと健康	4 時間	
		助産診断技術学演習	10 時間	妊産褥婦のフィジカルアセスメントを実施し必要な保健指導について学習する。妊娠・分娩・産褥・新生児期の助産診断・援助の実践に必要な基本的な技術を習得する。NCPR アルゴリズムに基づく新生児ケア、母体急変時の初期対応、産褥期の集団指導を学習し実践できることを目指す。講義で学習した知識に基づいて技術を用い、シミュレーション等により実践的に学習する。
実習	10 時間	女性のライフサイクルと健康	10 時間	
討論	2 時間	助産診断技術学演習	1 時間	
		女性のライフサイクルと健康	1 時間	
考査	1 時間	上記科目の評価にかかる試験	1 時間	
計	40 時間		44 時間	